

第44期（令和3年度）事業の概要について

令和4年6月30日

千葉都市モノレール株式会社

◇事業の概要

当期の業績は、年間輸送人員が延べ1,650万人（前期比110.78%）、一日平均では45,220人（前期比110.78%）となりました。また、運輸収入は28億41百万円（前期比111.82%）、運輸雑収は1億94百万円（前期比91.70%）となり、営業収益は30億35百万円（前期比110.27%）となりました。輸送人員・運輸収入ともに、長引く新型コロナウイルス感染症に伴う外出の自粛や三密を避ける生活様式への変化等が常態化する中、環境に適応した行動の変容により若干の回復傾向が見られます。

一方、営業費については、新型コロナウイルス感染症の影響による収益の回復が見込まれない見通しから、安全に配慮しつつ、設備更新を含めた予算の執行を見直すなど経費縮減に努めた結果、全体として27億88百万円（前期比95.41%）となっています。

これらのことから、営業利益は2億47百万円、経常利益は3億円、当期純利益は3億33百万円となりました。

輸送人員の内訳については、定期外は感染者数の減少等により、前期比118.11%となりました。

通勤定期は、テレワークが想定より定着化しなかったことなどにより前期比102.87%、通学定期は、休校等の影響が前期より少なく前期比124.40%、定期全体では前期比106.07%となりました。

なお、定期券購入の傾向として、3ヵ月及び6ヵ月の定期券購入者が減少しており、1ヵ月の短い期間の定期券購入者が増加しました。不測の事態に対応できるよう、短期間の定期券購入にシフトしたと思われます。

そのような中で、当社の経営基盤となる安全・安定輸送を継続するため、経年劣化対策として取り組んでいる殿台変電所更新工事や運行管理システム更新工事については更新工事が概ね完了し、殿台変電所は令和4年2月から、運行管理システムは1月から運用を開始しております。また、耐用年数が経過した車両についても、安全性や環境に配慮した車両への更新を計画するなどの設備更新にも取り組んでいます。

安全・安定輸送の継続への取り組みについては、「令和3年度 安全重点施策」に掲げた「経年劣化設備の更新・点検」、「訓練・教育」の実施及び「事故・災害」対策の3項目を柱として次の施策を推進しました。

経年劣化対策に対する設備更新として、千葉駅転てつ機更新工事（4箇所中2箇所完了）、運行管理システムの更新、殿台変電所更新及び再生電力貯蔵装置設置、駅放送装置の更新のほか、軌道桁等の塗替塗装工事を実施しました。

安全・安定輸送サービスについては、適切な運行判断や迅速なお客様への情報提供を行うために気象情報サービスの契約を行ったほか、安全管理体制の維持・確認のため、輸送安全総点検の実施、内部監査による輸送の安全確保に対する取り組み体制の確認、また、安全対策会議（マネジメントレビュー）においては、国が主導する「運輸防災マネジメント」に対応するため、安全管理規程における「安全に係る行動規範」に防災・自然災害対応の要素を追加しました。

訓練・教育面では防災訓練等の実施、地域消防・警察との連携合同避難訓練、テロ対応、その他の非常時

対応訓練等により安全輸送に努めています。

お客様へのサービス向上の取り組みについては、前述の新放送装置の運用開始、駅トイレリニューアル・洋式化の推進、おむつ替えスペース設置（動物公園駅）、サービス介助士資格取得の推進、駅の段差識別表示修繕の実施のほか、情報発信として、沿線学校等への出前講座の実施や『初音ミク』コラボ企画の実施など、千葉都市モノレールの魅力を積極的にPRしました。

将来を見据えた経営環境の強化として、カーボンニュートラルへの取り組みを見据えた非化石証書契約によるCO2排出量の削減に取り組んでいます。そのほか、収入増・経費節減策として、新型コロナウイルス感染症に係る給付金・交付金制度の活用、地域限定旅行業、アニメとのコラボを実施しました。

沿線地域と連携した取り組みについては、千葉市主催の新成人イベントへの協力、沿線学校等からの依頼を受け、職業体験学習「各種団体による出前授業」として当社の事業や社員の業務内容等について各学校で講義を行ったほか、千葉市教育委員会からの依頼に基づく車両基地見学、千葉経済学園との相互連携協定によるポスター掲示や医療従事者に対するボランティア活動への協力のほか、千葉大学にてエコやSDGsの啓発活動等を実施しました。

新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについては、ホームページ等によるお客様への情報提供及び車内換気の実施のほか、社員に対する感染予防対策の徹底、ワクチン接種の推進等に努めました。

厳しい環境下ではありますが、今後も現況を踏まえ、令和3年度中に見直しを図った中期経営計画（2022-2024）の基本戦略である「安全・安定輸送の継続」、「困難に打ち勝つ『企業力』の強化」及び「誰にでもやさしいサービスの提供」の3項目を着実に推進し、お客様が安心してご利用できる環境の構築や利用促進等に努めてまいります。

輸送人員及び運輸収入

		第42期 (令和元年度)	第43期 (令和2年度)	第44期 (令和3年度)	対第42期比	対第43期比	
営業日数(日)		366	365	365	—	—	
輸送人員 (千人)	定期外	8,824	5,827	6,883	78.01%	118.11%	
	定期	通勤	8,748	7,725	7,947	90.84%	102.87%
		通学	1,837	1,345	1,674	91.11%	124.40%
		計	10,585	9,071	9,621	90.89%	106.07%
	合計	19,410	14,899	16,505	85.03%	110.78%	
運輸収入 (百万円)	定期外	1,973	1,315	1,561	79.13%	118.69%	
	定期	通勤	1,215	1,085	1,104	90.82%	101.70%
		通学	190	139	175	92.41%	125.80%
		計	1,405	1,225	1,279	91.03%	104.45%
	合計	3,379	2,540	2,841	84.09%	111.82%	
運輸雑収(百万円)		197	212	194	98.62%	91.70%	
収入合計(百万円)		3,576	2,753	3,035	84.88%	110.27%	

その他の決算資料は、弊社ホームページ決算概要をご参照ください。

<https://chiba-monorail.co.jp/index.php/company-info/kessan/>

以上

<お問い合わせ先>

千葉都市モノレール株式会社 総務部経営企画課

電話 043-287-8216